

安全データシート

整理番号: KOWA345
 作成 : 2017.11.20
 改訂 :

製品名: 丸山純正2サイクルエンジンオイル50:1

1、製品及び会社情報

製品名 : 丸山純正2サイクルエンジンオイル50:1
 会社名 : 株式会社丸山製作所
 住所 : 東京都千代田区内神田3-4-15
 連絡先 : TEL 03-3252-2281
 FAX 03-3252-4327
 緊急連絡先 : 丸山サポートセンター TEL 0120-898-114

2、危険有害性の要約

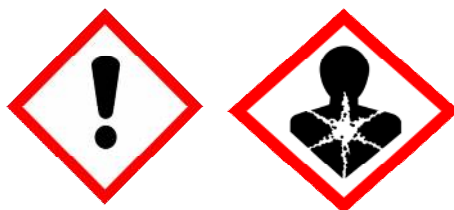
特有の危険有害性 : この商品は、記載の法令に該当しますので、該当する法令の内容を確認し
 取り扱って下さい。
 危険物第4種 第3石油類(消防法 危険物)

GHS分類

引火性液体	区分
急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分外
眼損傷性/刺激性	区分2
発がん性	区分外
特定標的臓器毒性, 単回ばく露	区分2
特定標的臓器毒性, 反復ばく露	区分外
吸引性呼吸器有害性	区分外

GHSラベル要素

絵表示 :



注意喚起語 :	警告
危険有害性情報 :	皮膚刺激 発がんの恐れ of 疑い
注意書き :	安全対策 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない事。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用する事。 眼に入れない事。飲み込まない事。 指定された個人用保護具を使用する事。 取り扱い後はよく手を洗う事。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない事。
応急措置	飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡する事。 飲み込んだ場合: 口をすすぐ事。無理に吐かせない事。 眼に入った場合: 多量の流水で洗眼し、直ちに医師に連絡する事。 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗う事。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する事。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受ける事。
保管	直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管する事。

安全データシート

整理番号: KOWA345
作成 : 2017.11.20
改訂 :

製品名: 丸山純正2サイクルエンジンオイル50:1

一度栓開けた容器は必ず密栓しておく事。
廃棄 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄する事。
不明な場合は購入先にご相談の上処理する事。

3、組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 成分及び含有量	混合物 潤滑油基油 潤滑油添加剤 鉱油(添加剤)	50質量%以上65質量%未満 50質量%未満 2質量%以上4質量%未満
化学特性(化学式) 官報公示整理番号(化審法、労働安全衛生法)	特定できない。 企業の秘密なので記載できない	
危険有害成分	化学物質管理促進法 労働安全衛生法 毒物劇物取締法	非該当 鉱油(第57条の2 通知対象物質) 50質量%以上60質量%未満 灯油(第57条の2 通知対象物質) 10質量%以上20質量%未満 非該当

4、応急措置

吸入した場合 :	新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい体勢で休息させる。 体を毛布等で覆い、保温して安静を保ち、直ちに医師の手当てを受ける。 呼吸が止まっている場合及び呼吸が弱い場合は、衣類を緩め、呼吸 気道を確保したうえで人工呼吸を行う。
皮膚に付着した場合 :	直ちに汚染された衣服を脱ぎ、皮膚を大量の水と石鹸水で洗う。 汚染された衣服を再使用する場合には洗濯する。
眼に入った場合 :	清浄な水で数分間注意深く洗う。 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。 その後も洗浄を続け、最低15分間洗浄した後、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合 :	無理に吐かせないで医師の手当てを受ける。 口の中が汚染されている場合は水で充分洗う。
最も重要な徴候及び症状 :	誤飲した場合、胃の粘膜を刺激し、吐く事がある。 嘔吐中に飲み込んだ本品が肺に吸入されると化学性肺炎を起こし、 致命的となる事がある。
応急処置をする者の保護 :	現在のところ有用な情報なし。

5、災害時の措置

消火剤 :	霧状の強化液、粉末、炭酸ガス、泡が有効である。 初期の火災には粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。 大規模火災の際には泡消火剤を用いて空気を遮断する事が有効である。
使ってはならない消火剤 :	棒状水の使用は火災を拡大し危険な場合がある。
火災時の特有の危険有害性 :	燃焼の際は一酸化炭素、亜硫酸ガス等が生成される。 高温の金属表面等に接触した場合、発生した蒸気によって燃焼や爆発が 起きる可能性がある。
特有の消化方法 :	火元への燃焼源を絶つ。 周囲の設備等に散水して冷却する。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全データシート

整理番号: KOWA345
 作成 : 2017.11.20
 改訂 :

製品名: 丸山純正2サイクルエンジンオイル50:1

消火を行う者の保護 : 消火作業の際は風上から行い、必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想定される場合は、不浸透性の保護具及び手袋を着用する。

6、漏出時の措置

人体に対する注意事項、
 保護具及び緊急時措置 : 作業の際には保護具を着用する。

環境に対する注意事項 : 付近の着火源となるものは速やかに取り除く。
 下水道・河川等に流出し、二次災害・環境汚染を起こさないように注意する。
 海上の場合、展張船によるオイルフェンスの展張は危険防止の為、蒸気の及ばない範囲で行う。やむを得ず危険範囲に近づく場合は上記の拡散状況を把握し(風向、風速、ガス濃度等)安全を確認する。

封じ込め及び城下の方法及び機材 : 蒸発しやすいので、速やかに全ての着火源を取り除き、漏洩個所の漏れを止める。
 危険地域より人を退避させる。危険地域の周辺にはロープを張り、人の立ち入りを禁止する。
 少量の場合は、土、砂、おがくず、ウエス等に吸収させ回収する。
 大量の場合は、盛り土で囲って流出を止めた後、液面を泡で覆い容器等に回収する。

二次災害の防止策 : 漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で速やかに関係機関に通報する。付近の着火源となるものを速やかに除くと共に消火剤を準備する。

7、取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策 : 指定数量以上の量を取り扱う場合には、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行う。
 熱・火花・炎・高温体等との接触を避けると共に、みだりに上記を発散させない事。
 禁煙。
 皮膚に触れたり目に入る可能性のある場合は保護具を着用する。
 静電気対策を行い、作業衣・靴等も導電性の物を用いる。
 危険物が残存している機械設備等を修理、又は加工する場合は安全な場所において危険物を完全に除去してから行う。
 容器から取り出す時はポンプ等を使用する事、細管を用いて口で吸い上げてはならない。飲まない。
 ミストが発生する場合は呼吸器具等を使用し、ミストを吸入しない。
 容器は必ず密閉する。

局所排気 : 室内で取り扱う場合には、十分な換気を行う。

全体換気 : 換気装置を付ける場合は、防爆タイプを用いる。

注意事項 : 製品から発生した蒸気は空気より重いので滞留しやすい。そのため換気及び火気等への注意が必要である。

安全取扱 : ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質類と接触しない様に注意する。

注意事項 : ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質類と接触並びに同一場所での保管を避ける。
 容器を開ける時は手を切る恐れがあるので保護手袋を着用する。

保管 : 安全な保管条件 : 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管する事。
 危険物の表示をして保管する。
 熱、スパーク、火炎並びに静電気貯蓄を避ける。
 保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は設置する。
 ゴミ、水分等の混入防止のため使用後は密栓して保管する。

安全な容器 : 容器に圧力をかけない。圧力をかけると破裂する事がある。

包装材料 :

安全データシート

整理番号: KOWA345
作成 : 2017.11.20
改訂 :

製品名: 丸山純正2サイクルエンジンオイル50:1

8、暴露防止及び保護措置

設備対策 :	ミストが発生する場合は発生源の密閉化、又は排気装置を設ける。 取扱場所の近くに目の洗浄及び身体洗浄の為の設備を設置する。
許容濃度	管理濃度 : 規定なし(作業環境評価基準:労働省告示第26号、平成7年3月27日)
	許容濃度 : 日本産業衛生学会
	時間荷重平均 TWA 3mg/m3 (Mineral Oil Mist)
	ACGIH
	時間荷重平均 TWA 200mg/m3 (Kerosine)
	時間荷重平均 TWA 5mg/m3 (Mineral Oil Mist)
保護具	
	呼吸用保護具 : 通常必要ではないが必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)を着用する。
	手の保護具 : 長期又は繰り返し接触する場合は耐油性の物を着用する。
	眼の保護具 : 飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡を着用する。
	皮膚及び身体 の保護具 : 長期間にわたり取り扱う場合又は漏れる場合には耐油性の長袖作業着等を 着用する。
適性な衛生対策 :	濡れた衣服は脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。

9、物理的及び科学的性質

製品	外観	物理的状态 :	液体
		形状 :	液体
		色 :	青色
	臭い		僅かな臭気
	融点・凝固点		データなし
	沸点、初留点		初留点-終点 データなし
	及び沸点範囲:		データなし
	引火点 :		90°C(COC)
	自然発火温度 :		推定値200-410(°C)
	燃焼の範囲又は		爆発限界 推定値1-7(%)
	爆発範囲 :		データなし
	蒸気密度 :		データなし
	密度(g/cm3) :		0.867(15°C)
	溶解度 :		水:不溶
	n-オクタノール/水		データなし
	分配係数 :		データなし
	分解温度 :		データなし

10、安定性及び反応性

反応性、化学的安定性 :	常温で暗所に貯蔵・保管された場合、安定である。
危険有害反応可能性 :	強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件 :	混触危険物質との接触。
混触危険物質 :	ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質類と接触しない様に注意する。
危険有害な分解生成物 :	燃焼の際は煙、一酸化炭素、亜硫酸ガス等が生成される。

安全データシート

整理番号: KOWA345
 作成 : 2017.11.20
 改訂 :

製品名: 丸山純正2サイクルエンジンオイル50:1

11、有害性情報

製品

急性毒性(経口) :	基油についての有用な情報なし。 混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
急性毒性(経皮) :	ウサギLD50 2000mg/kg以上(基油) 混合物については混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
急性毒性(吸入) :	基油についての有用な情報なし。 混合物については混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 :	基油についてはヒトで皮膚への接触により刺激性が認められた。 混合物については混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性 :	基油について、ウサギを用いたドレイズ試験で刺激性が認められなかった。 混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
呼吸器感作性 :	基油についての有用な情報なし。 混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
皮膚感作性 :	基油について、モルモットを用いた複数の試験(ビューラーテスト)において、いずれも感作性なしとの結果が得られている。 混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
生殖細胞変異原性 (異変原生) :	基油について、体細胞を用いるin vivo変異原性試験であるラット骨髄細胞を用いた染色体異常試験で陽性の結果があるが、マウス骨髄を用いた小核試験、更にげっ歯類を用いる優性致死試験でも陰性の結果がある。 混合物については混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
発がん性 :	基油について、IARCではグループ3に分類されているが、ACGIHではA3に分類されている。 混合物については混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
生殖毒性 :	基油について、妊娠ラットへの投与試験で生殖毒性が認められなかったとデータにはあるが、親動物への影響についてのデータが無い為、投与量(蒸気圧から計算できる飽和濃度未満)が適切であるか否かの判断が出来ない。 混合物については混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
特定標的臓器毒性、 単回ばく露 :	基油について、ヒト暴露例で中枢神経抑制やめまい等が認められた。 混合物については混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
特定標的臓器毒性、 反復ばく露 :	基油についての有用な情報なし。 混合物については混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
吸引性呼吸器有害性 :	40℃の動粘性率が20.5mm ² /s以下の炭化水素であり、ヒトの摂取により肺への吸引を起こし、その結果油性肺炎又は化学性肺炎をもたらすとの報告がある。

安全データシート

整理番号: KOWA345
作成 : 2017.11.20
改訂 :

製品名: 丸山純正2サイクルエンジンオイル50:1

12、環境影響情報

製品

生態毒性		
急性毒性	:	基油についての有用な情報なし。 混合物については混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
慢性毒性	:	基油についての有用な情報なし。 混合物については混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
残留性/分解性	:	基油についての有用な情報なし。
生体蓄積性	:	基油についての有用な情報なし。
土壤中の移動性	:	基油についての有用な情報なし。

13、廃棄上の注意

廃棄方法 :	事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、若しくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 投棄禁止。 埋立処分を行う場合には、予め焼却設備を用いて焼却し、その燃殻については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」に定められた基準以下である事を確認しなければならない。 燃焼する場合は、安全な場所で且つ燃焼または爆発によって他に危害又は損害を及ぼす恐れのない方法で行うと共に、見張り人をつける。 容器は清浄にしてリサイクルするか関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処理をする事。 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。
--------	--

14、輸送上の注意

IMDG分類	国連分類	:	非該当
国内規制 :			下記、輸送に関する国内法規制に該当するので、各法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。 陸上輸送 消防法 危険物 第4類 第3石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ 海上輸送 船舶安全法 非危険物(個別運送及びバラ積み運送に於いて) 航空輸送 航空法 非危険物
輸送の特定の安全対策及び条件 :			運送容器及び包装の外部に品名、数量、危険等級及び「火気厳禁」の表示をする 容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬する。 指定数量以上を車両で運搬する場合は、総務省令で定める所により、当該車両に標識を掲げ、消火設備を備える。運搬時の積み重ね高さは3m以下とする。 第1類及び第6類の危険物及び高圧ガスとを混載しない。

15、適用法令

消防法 :	危険物・第4類引火性液体・第3石油類非水溶性液体、危険等級Ⅲ危険物
安衛法 :	表示対象物、通知対象物
水質汚濁防止法 :	油分排出規制
下水道法 :	鉱油類排出規制
海洋汚染防止法 :	油分排出規制
廃掃法 :	産業廃棄物規制

安全データシート

整理番号:KOWA345
作成 :2017.11.20
改訂 :

製品名:丸山純正2サイクルエンジンオイル50:1

16、その他の情報

- 参考文献等 : 許容濃度等の勧告(2010)日本産業衛生学会 産業衛生学会誌
米国産業衛生専門家会議(ACGIH) "TLVs and BELs 2010"(2010)
International Uniform Chemical Information Database(IUCLID)(2000)
ECHA(European Chemicals Agency),website"ECHA CHEM",Information on
Registered Substances(2011).
IARC suppl.7(1987)
IARC Monographs Programme on the Evaluation of Carcinogenic Risk to Humans(2006)
EC理事会指令「67/548/EEC」の付属書 I「危険な物質リスト」
WHO/IPCS:「環境保護クライテリア(EHC)」(1982)
WHO/IPCS:「ICSCカード(International Chemical Safety Cards)」(2001)
安全衛生情報センター「GHS対応モデルラベル・モデルMSDS情報」
独立行政法人 製品評価技術基盤機構(nite)「GHS関連情報」
日本規格協会(JIS)JIS Z 7253:2012「化学物質等安全データシート(MSDS)」
同上 JIS Z 7253:2012「GHSに基づく化学物質等の表示」
Toxicological Profile for Automotive Gasoline(ATSDR,1995)
PATY,5th(2001)
Hazardous Substances Data Bank,GASOLINE(2004)
自社製品測定データ、社内情報
- 免責文 : 安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保する為の
参考情報として取り扱う事業者提供されるものです。
取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態
に応じた適切な処置を講ずることが必要である事を理解したうえで、活用されるよう
お願いします。
従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。